

## ジブチ共和国話題集

### 【国名】

- 諸説あり、正確なところは不明だが、一説によれば、イッサ族の言葉で「ジェットボウト（ダウ船の停泊地）」が転訛したもの（東京都立図書館HP）。

### 【国旗】

緑：大地

青：空

白：平和。

赤い五稜星：独立のために流された血。

白の三角形はジブチの標語（団結、平等、平和）を意味。



## 【国土】

- 年間降雨量が約155mmと極端に少ない乾燥地帯。夏（5～9月）の平均気温は38度、冬（10～4月）の平均気温は25度。
- アラビア半島とアフリカ大陸が分離していく過程にある大地溝帯の出発点のひとつであり、地殻変動に伴う地震が多い。マグニチュード4程度の地震が年数回発生している。
- 映画「猿の惑星」の風景は、ジブチの大地溝帯に着想を得たものだとの説がある。火山活動が活発で、国土のほとんどは玄武岩で覆われている。

## 【宗教・言語】

- 国民の大半（人口の94%）がイスラム教徒スンニ派であり、残りはシーア派及びキリスト教徒である。
- 公用語は、仏語及びアラビア語だが、現地人同士の会話では母国語であるソマリ語またはアファール語が用いられる。高等教育を受けた者は英語も解する。

## 【人口・民族】

- 人口は約107万人で、このうち約3分の2が首都ジブチ市に居住。人口の半分以上が25歳以下と若い。
- 主な民族は、ソマリア系のイッサ族（約60%）とエチオピア系のアファール族（約35%）。伝統的にイッサ族とアファール族は習慣の違い等もあり、対立意識が続いたとも言われるが、政府は独立以降、民族融和努力を行っている。

## 【政治】

- 1977年にフランスから独立。
- 政体は大統領制で、直接選挙で選出される。大統領の任期は5年。現ゲレ大統領は1999年に初当選。現任期は2026年4月まで。
- 議会は一院制で、総議席は65席、任期は5年。政情は比較的安定しており、2023年2月に実施された選挙は大きな混乱はなく実施され、与党が圧勝した。

## 【経済状況】

- 経済成長率は1997年から概ねプラス成長を果たしており、2023年は6.7%の成長を達成。一方、近年の大型インフラ整備（港湾、鉄道等）に伴い、対外債務が増大。

## 【主要な産業】

- GDPの約85%を、港湾サービス及びエチオピアへと延びる鉄道輸送等による第3次産業が占める。
- ジブチ経済は、この第3次産業に加え、各国駐留軍による経済的効果、外国等からの援助の3つで成り立っている。
- 農業適地は国土の1%であり、元々遊牧民であった伝統も影響し、水産や牧畜を加えてもGDPの約1%。穀物や野菜等はエチオピアやソマリア、ヨーロッパ等などからの輸入に頼っている。

## 【動植物】

- 首都近郊で、ラクダ、山羊等を見ることができる。大型の動物はいないが、中部のバラ砂漠などではヒヒ、ガゼル等が生息している。
- 厳しい自然条件、特に最も暑い季節には土壌温度が70～80度にも上がるため、植物はあまり見られないが、イネ科の植物、乾性に強いタイプのアカシア類などが一部で茂っている。北部の山岳部には森林も存在する。

## 【観光】

- 中部にあるアッサル湖は地球上で最も塩分濃度が高い（34.8%）塩湖。湖面は海拔マイナス157メートルで、高温乾燥下で水分のみが蒸発し塩分が濃縮された状態にある。湖岸の塩は貴重な輸出産品となっており、日本でも輸入販売されている。
- タジュラ湾に浮かぶ島々の付近では、季節によって熱帯魚、イルカ、ジンベエザメなどが見られ、美しい珊瑚礁の海岸もある。観光開発が政府の課題。

## 【歴史】

- アフリカとアラブの間の通商の十字路にあり、7世紀頃にはイスラム教が広がっていったものと見られている。欧州人と恒常的に接触するようになるのは19世紀以降。1862年に仏は現地スルタンと契約を結び、海岸地帯を譲り受けた。更に、スエズ運河の開通後、アフール族のスルタン及びイッサ族の族長と保護契約を結んだ。1896年には仏は行政の中心地をオボックから今の首都ジブチへと移した。1956年に仏海外領土のひとつとされ、1967年には仏領アッフール・イッサと名称が変更された。
- 独立運動を経て、1977年に独立を果たし、初代大統領にグーレド大統領が就任。第2代大統領で現職のゲレ大統領は、グーレド大統領の下で官房長官を務めた。

## 【文化・スポーツ】

- 無形文化としては、遊牧民の生活や種々の儀式が起源と思われる、「プント (pount)」と呼ばれる踊りがある。笛や太鼓に合わせて踊りが行われると同時に、その後ろで手と足でリズムをとりながら即興の歌が歌われる。
- 国民に人気があるスポーツはサッカー。また、陸上競技（特に長距離走）の有力選手を擁し、1985年4月、広島で開催されたワールドカップ・マラソンで、ジブチのアーメド・サラが2時間8分9秒の記録で優勝した。日本の伝統武道（柔道、空手）についても、競技人口が増えてきている。

## 【教育】

- 2000年に導入された新教育制度により、義務教育（学費無料）は小学校5年間及び中学校4年間の計9年間と定められている。その後は、普通高校（3年）もしくは職業専門高校（4年）に分かれる。
- 他方、私立校に関しては独自のシステムとして、計9年間の小中一貫教育を実施している。計12年間の小中高一貫教育を実施する私立校も存在する。
- 1999年に就任したゲレ大統領の教育改革イニシアティブの一環として、2000年に大学センター、また、2006年には国内初の大学（ジブチ大学）が設立された。

## 【食文化】

- 食料自給率が3%と極めて低い。
- 市内ではエチオピア、イエメン、トルコ系の料理や、フレンチ、イタリアン、インド、中華等、多様な料理を食べることができる。
- 地元民の主食はとうもろこし粉や小麦粉で作られたガレット（クレープ）やパン、米等。

## 【その他】

- 特に暑い季節となる5月後半から9月初めにかけては、避暑のため休暇をとる人が多い。
- 女性は、お祝いの機会等に「ヘナ」と呼ばれる植物の汁を使った「ヘナタトゥー」を手や足などに行う習慣がある。

（了）